東京ジャーミイ金曜日のホタバ

２０１２年７月13

ラマダーン月の徳

親愛なるムスリムの皆様！

社会的相互援助、相互支援を強め、愛情と敬意、兄弟愛の思いを高めるラマダーン月を私たちは迎えようとしています。

ラマダーン月には、他の月に比べ、宗教的・社会的生活において大きな重要性があります。なぜなら人間を正しい道に導く神の言葉クルアーンが下された月であること、そして千の月よりもより尊いみいつの夜がそこに含まれていることは、この月の精神的な価値をより高めているのです。

崇高なるアッラーは次のように仰せられました。「ラマダーンの月こそは、人類の導きとして、また導きと（正邪の）識別の明証としてクルアーンが下された月である」(雌牛章第185節)

預言者様もこの月に関し、「誰であれ、信仰し、褒賞をアッラーから求めてラマダーン月の斎戒を行えば、過去の罪は許される」と仰せられました。

親愛なるムスリムの皆様。断食の月であるラマダーン月は、多くの英知を含んでいます。私たちがそれを認識することによって精神的な安らぎを得、喜びを感じている無数の恵みの尊さを思い起こし、一時的な快楽や感情を放棄し崇高なるアッラーが命じられた断食と言うイバーダにより、永遠に続く喜びに至るという神秘に到達するのです。

断食は、人間に忍耐すること、足るを知ること、といった道徳的美徳を身に着けさせ、空腹であることによって恵みの尊さを認識させ、それにより貧者の状態を理解し、彼らに慈しみをもって振る舞わせます。このような特質によってラマダーン月は、我欲が鍛錬され、貧者が援助を受け、善行や褒賞が増し、許しや豊かになされる月です。

なされた断食、タラーウィーの礼拝、読まれたクルアーン、ムカーバラ、イフタール、サフル、ドゥアー、悔悟、ズィクル、そして懇願によって初めから終わりまで、恵みと豊かさの月となるのです。

ラマダーン月は、アッラーに対するしもべの意識を深く感じ、一体化と共存が強められる月です。だから、ラマダーン月の価値を認識しましょう。それを最善の形で活用しましょう。心を楽にする精神的雰囲気を味わいましょう。それによって私たちの過去を省み、不注意さ、悪事、そしてハラームであることから自分たちを遠ざけましょう。善行やイバーダでアッラーのご満悦を得るよう努力しましょう。クルアーンの月であるこの月に、クルアーンとしっかり結びつきましょう。それを私たちの生き方での道案内としましょう。

崇高なるアッラーに、ラマダーン月がイスラーム社会全体に善をもたらすこと、人々が教えに導かれ、また平和に至るきっかけとなることを願います。